

会議等の公開について（案）

1 会議の公開について

- ・ 本市における他の審議会、検討委員会等については、特段の事情がない限り公開していることから、本審議会についても、これに準じ、原則として公開するものとします。
- ・ ただし、会議の一部または全部を非公開とする必要があると考えられる事案が出た場合は、改めて協議を行うものとします。
- ・ 会議を非公開とする場合は、その理由を公表するものとします。

2 会議録及び配布資料の公開について

- ・ 会議録は要点筆記とし、会長については会長と表記し、その他の委員については、委員と表記します。
- ・ 会議録及び配布資料（以下「会議録等」という。）は、審議会事務局での閲覧、米沢市ホームページへの掲載等の方法により原則公開するものとします。
- ・ ただし、会議録等の一部または全部を非公開とする必要があると考えられる事案が出た場合は、改めて協議を行うものとします。
- ・ 会議録等を非公開とする場合は、その理由を公表するものとします。

参考 非公開とすることについて協議を行う場合の目安

- ・ 特定個人の権利利益を害するおそれがある場合
- ・ 率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合
- ・ 公開しないとの条件で任意に提供された資料等がある場合 等

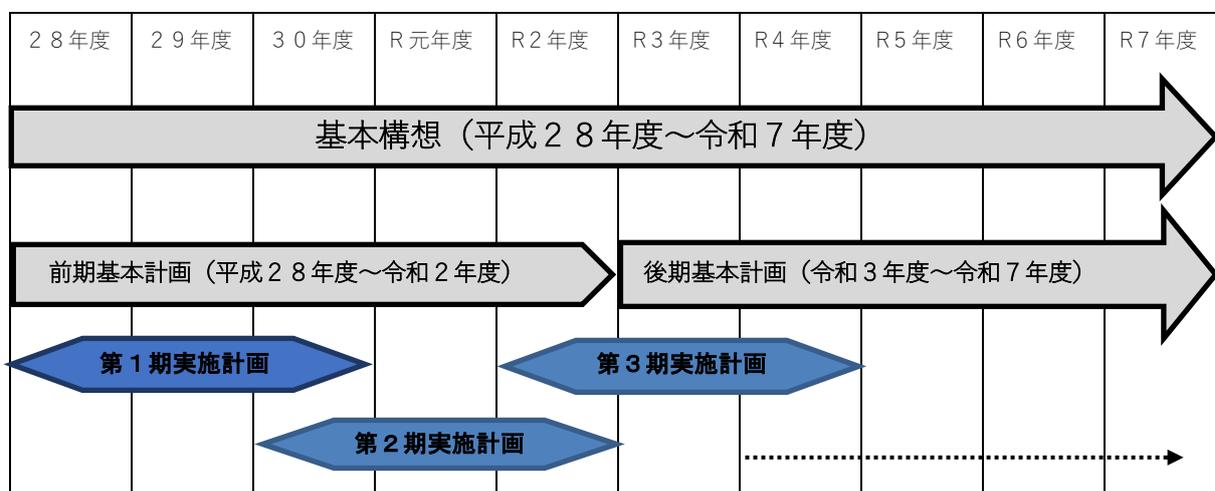
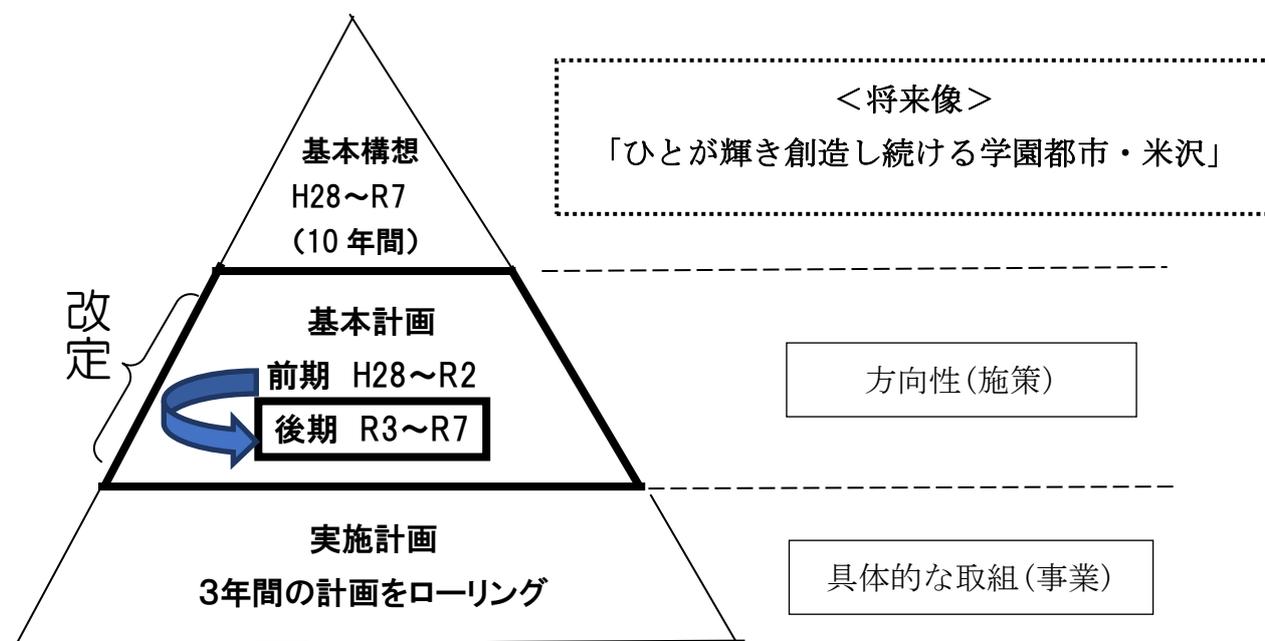
米沢市まちづくり総合計画 基本計画改定基本方針

1 改定趣旨

米沢市まちづくり総合計画は、「ひとが輝き創造し続ける学園都市・米沢」を本市の将来像に掲げ、その実現に向けて執るべき施策の大綱と具体的な事業を定めたものであり、平成28年度から令和7年度までの10箇年間に於ける本市市政運営の基本的な方針であるとともに、市民主体のまちづくりを進める上での行動指針としています。

この総合計画の基本構想で示したまちづくりの実現に向け、具体的な施策の内容を定めた基本計画は、令和2年度までの前期5箇年間に於ける計画の進捗状況や社会情勢の変化を踏まえて見直すこととされているため、改定を行います。

《総合計画の構成のイメージ図》



2 改定の基本的な視点

(1) 基本構想における将来像の実現を目指した計画

基本構想に掲げた将来像に向けて、後期5年間で、将来像を実現する上で、解決すべき課題や具体的に取り組むべき事項を明らかにし、より実効性の高い計画として改定します。

(2) 社会経済情勢を踏まえた計画

人口減少や人口構造の変化、厳しい財政状況、公共施設の老朽化率、本市を取り巻く社会経済環境を踏まえ、今後の動向にも考慮した計画づくりを進めます。

(3) 市民の参加による計画

本市のまちづくりを進める上で、行政だけでは課題解決を図ることが難しい状況も出てきており、地域や市民とともに進めていく必要があります。市民アンケート調査、まちづくりフォーラムの開催、パブリックコメントの実施など、「市民とともにつくる計画」という意識のもと、計画づくりを進めます。

3 改定の体制

(1) 米沢市総合計画審議会

市長からの諮問を受け、後期基本計画策定に関する調査、審議を行い、審議結果を市長に答申します。委員は公募を含めて20名以内とします。

(2) よねざわまちづくりフォーラム

市民が気軽な雰囲気の中、まちづくりに対する幅広い意見を出し合い、それらの意見を市及び審議会への提案を取りまとめます。

(3) その他の市民意見等の集約体制

① 市民アンケートの実施

より多くの市民の方の意見を後期基本計画に反映させるため、無作為抽出した市民及び高校生・大学生に対してアンケートを実施します。

② パブリックコメントの実施

後期基本計画に対して広く市民から意見を求め、それらの意見を反映させるようにするため、パブリックコメントを実施します。

③ 広報誌・HP等の活用

広報誌、HP等に、後期基本計画策定進捗状況等の情報を適宜掲載していきます。

(4) 庁内体制

① 総合計画策定会議

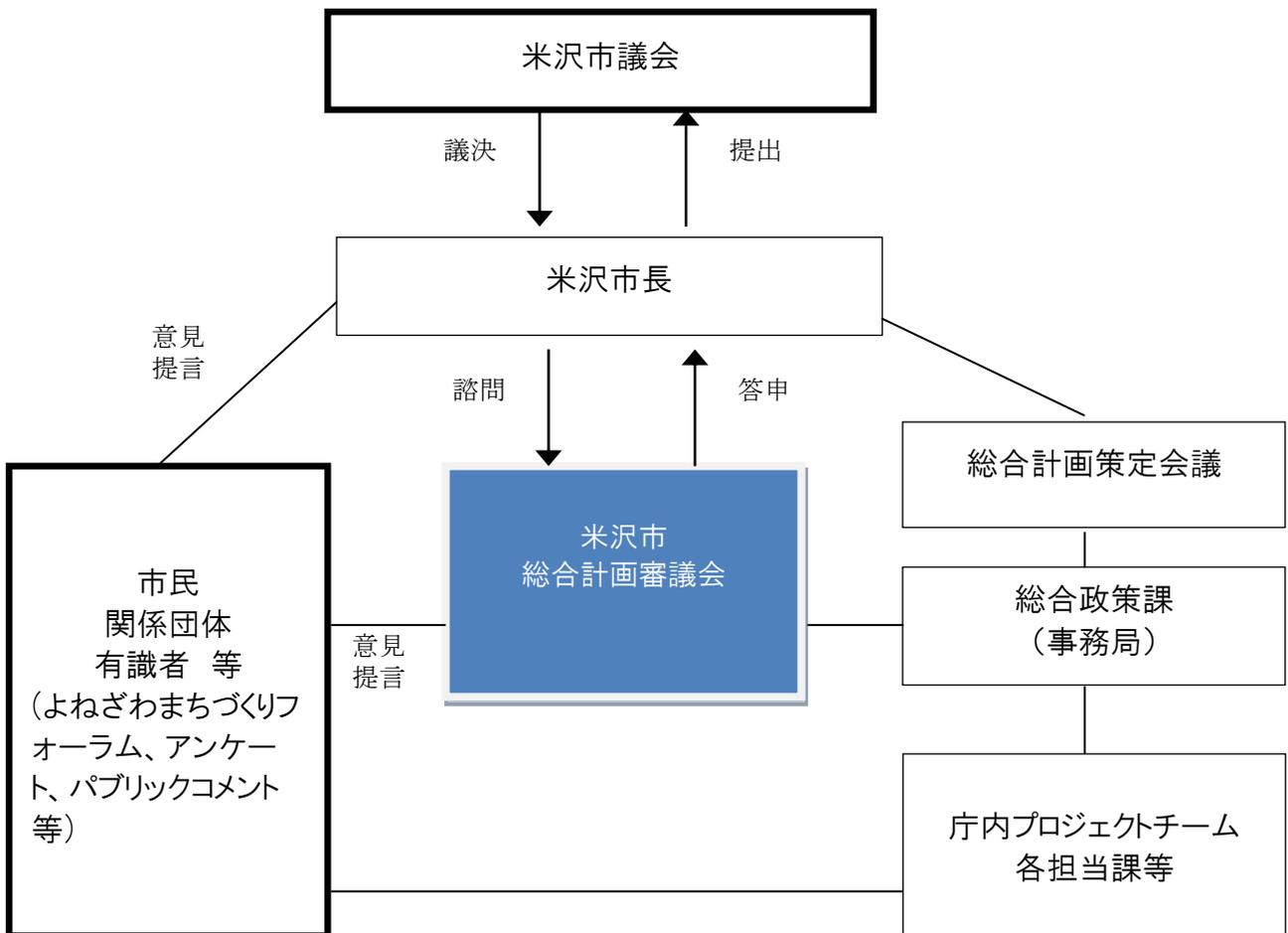
基本計画改定に係る基本方針を決定するとともに、計画案に関し各部門間の調整を図ります。

② 総合計画作成プロジェクトチーム

係長級職員で組織し、よねざわまちづくりフォーラムの運営支援等を行います。

③ 各担当課等

それぞれの所管する部門の施策、事業を検討するとともに、関係する団体等との連携を図ります。



4 改定スケジュール

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
審議会					諮問		○			○		○	
よねざわまちづくりフォーラム						○	○	○	○				
市民・高校・大学生アンケート					←→								
庁内策定会議		←→											
議会				← - - - - - 随時報告 - - - - - →									

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審議会	○	○		○			答申					
パブリックコメント				←→								
庁内策定会議	←→											
議会	← - - - - - 随時報告 - - - - - →									議決		

※市民への広報、関係者との協議及び意見交換は、適宜行います。

アンケートの実施について

1 実施概要

(1) 目的

まちづくり総合計画の基本計画改定に当たり、各年代層の市民からできる限り幅広く意見を聴き、それらの意見を基本計画に反映させるとともに、まちづくりに対する意識啓発を促すことを目的とする。

(2) 対象者

① 市民アンケート

18歳以上の市内在住者から3,000人を抽出

※対象者については本年7月1日現在の住民基本台帳から年齢、性別を考慮して無作為抽出します（同一世帯からは1名を抽出）。

② 高校生アンケート

市内の高校に在学している高校3年生 約1,000人

③ 大学生アンケート

- ・山形大学工学部（4年生・修士2年生）
- ・山形県立米沢女子短期大学（2年生）
- ・山形県立米沢栄養大学（4年生） 約1,400人

(3) 実施時期

① 市民アンケート

令和元年8月15日（木）頃発送 回答期間は約3週間とする。

② 高校生アンケート

令和元年9月～10月に実施予定

③ 大学生アンケート

令和元年10月に実施予定

(4) 実施方法

① 市民アンケート

郵送配付・郵送回収

② 高校生アンケート

各高校に配付・回収を依頼する

③ 大学生アンケート

各大学に配付・回収を依頼する（インターネットによる調査を併用）

(5) 回答率向上の工夫

- ・市報、市HPでの告知と協力のお願いを掲載
- ・回答期限前に、調査への回答協力依頼文書を郵送

2 市民アンケートの主な内容

項目	設問	設問のねらい
(1) 回答者属性	<ul style="list-style-type: none"> • 性別 • 年齢 • 居住地区 • 家族構成 	<ul style="list-style-type: none"> • 回答者の基本情報を得る。 • クロス集計項目に活用する。
(2) 暮らしの満足度（幸福度）・地域での暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> • 暮らしの満足度（幸福度）の把握 • 暮らしの満足度（幸福度）を判断する際に重視する項目・分野 • 将来の暮らしへの不安 • 米沢市の暮らしやすさ • 定住意向とその理由 • 暮らしで感じていること 	<ul style="list-style-type: none"> • 市民の総合的な暮らしの満足度（幸福度）を把握し、市民の生活課題を把握する。 • 住民の定住に向けて取り組むべき課題の把握、施策の検討の基礎資料とする。 • 暮らしの満足度（幸福度）を高めるうえで、市民の主観的な意向を把握する。
(3) 現行計画に対する市民満足度・重要度調査及び施策に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> • 現行計画の施策ごとの満足度・重要度評価（5段階評価） • 分野ごとの市政への自由意見記述欄 	<ul style="list-style-type: none"> • 現行計画の評価に活用する。 • 後期基本計画の施策の検討に活用する。

3 高校生・大学生アンケートの主な内容

項目	設問	設問のねらい
(1) 回答者属性	<ul style="list-style-type: none"> • 性別 • 学年等 • 居住地区 • 出身地 	<ul style="list-style-type: none"> • 回答者の基本情報を得る。 • クロス集計項目に活用する。
(2) 暮らしの満足度（幸福度）・地域での暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> • 暮らしの満足度（幸福度）の把握 • 暮らしの満足度（幸福度）を判断する際に重視する項目・分野 • 将来の暮らしへの不安 • 米沢市の暮らしやすさ • 定住意向とその理由 • 暮らしで感じていること 	<ul style="list-style-type: none"> • 市民の総合的な暮らしの満足度（幸福度）を把握し、市民の生活課題を把握する。 • 住民の定住・移住に向けて取り組むべき課題の把握、施策の検討資料とする。 • 暮らしの満足度（幸福度）を高めるうえで、市民の主観的な意向を把握する。
(3) 将来の働き方・暮らし方について	<ul style="list-style-type: none"> • 就職希望地と選択理由 • 仕事選択時の重視事項 • 将来の居住希望地 • 居住地を検討する上での重視事項 • 移住・定住に向けた施策（※大学生のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> • 若者の就職意向や居住意向を把握し、仕事や居住地へのニーズを掴む。 • 若者の定住・移住に向けて取り組むべき課題の把握、施策の検討資料とする。

よねざわまちづくりフォーラムについて

1 目的

気軽な雰囲気の中、市民にまちづくりに対する関心を高めてもらうとともに、まちづくりに対する幅広い意見を出してもらい、それらの意見を米沢市まちづくり総合計画後期基本計画に反映させることを目的とします。

2 参加者

- (1) 参加者は、各種団体からの推薦者及び公募による参加者を合わせて、30～50名程度とします。
- (2) 各種団体からは、一定の役職に就かれている50代以上の人が推薦されてくるものと推測されることから、できる限り幅広い年代層の市民から意見を聴くために、公募による参加者については18歳以上50歳未満の人(高校生を除く。)を対象とします。
- (3) 参加者には1回の出席につき謝金として3,000円を支給します。

3 公募の方法等

別添チラシに基づいて広報、市ホームページ等で参加者を募集します。

また、より広く参加者を募るため、市民から500名を無作為抽出し、参加を呼びかけています。

4 フォーラムの概要

- (1) フォーラムは、平日の夜間や休日に1回1時間半～2時間程度で全4回の開催を予定しています。
- (2) 各回とも参加者は10名前後のグループをつくり、そこで意見交換等を行います。
- (3) プロジェクトチーム職員が進行役等として参加します。
- (4) 最終的には、グループごとに市の施策に対する意見をまとめ、発表していただきます。